

令和7年度 第1回三木市学校給食審議会 議事録

1 開催日時 令和7年5月9日(金) 19時～20時30分

2 開催場所 三木市役所 5階大会議室

3 出席者

会長	水野	千恵
副会長	高森	伸彦
委員	東中	閑哉
委員	藤原	真那美
委員	富田	佳泰
委員	岡嶋	智寿后
委員	西未路	雅恵

(事務局)

教育委員会	教育長	大北	由美
教育総務部	部長	森田	真規
教育施設課	課長	大塚	芳徳
教育施設課	課長補佐	谷田	麗奈
教育施設課	給食係主査	塔田	邦美

4 傍聴者の数 2人

5 会議の概要

- (1) 委員の委嘱、自己紹介
- (2) 会長、副会長の選出
- (3) 審議会の目的と委員の役割について説明
- (4) 諮問

学校給食費の改定について

(5) 議事

学校給食費の改定について

6 主な発言の要旨

学校給食の現状、給食費について資料を基に事務局より説明

(会長)

学校給食の現状について、実際の給食を作っている様子やどうして学校給食費を改定しないといけないか等の説明でしたが、ご意見とかご質問があれば、お願いします。

(委員)

もう毎年のように物価がどんどん上がっているというニュースが出ていますし、私も買い物に行くときすごく実感があり、まだまだ上がるのではと心配している状況です。さらにまた上がれば、再来年以降もどのようにされるのかお考えがありましたら教えていただきたいです。

(事務局)

物価が上がれば、毎年、検討していく必要があると考えています。

(委員)

市が補填することが、できないということでしょうか。

(事務局)

令和8年度だけでなく、先を見越して、9年度10年度以降の予測ができればいいのですが、物価の先行きが読めません。まずは8年度分で、現状の上昇を見ながら、誰が負担するというのではなく、適正な価格を審議していただきたいと思っております。

(委員)

小学校で毎朝、子どもたちを校門で出迎えているのですが、おはようと言っ
てから話をするのが多く、その話題は大体が給食についてです。給食をす
ごく楽しみにしています。子どもたちの楽しみを継続することを考えると案2の
方が、子どもたちのためになるというのが、私の考えです。

(会長)

令和元年の献立は、オレンジゼリー、月見ゼリー、ヨーグルト、果物の梨があり、週1回ぐらいデザートがあります。12ページの今年度の4月の給食の献立は工夫されていて、感心しますが、デザートは、22日の入学お祝い献立のいちごクレープだけです。月1回、辛うじて提供できている現状です。また、ジョアは牛乳より少し安くて同じようにカルシウムが摂れるため、牛乳を月に1回、ジョアに変えて工夫されています。

小学校の先生からご意見をいただきましたが、他にご意見はございませんか。

(副会長)

日額が妥当かどうかを考えていましたが、基本的には、栄養バランスや、品質の維持やアレルギー対応も含め安心できる食事、これだけの難しいことをクリアした、保護者にとって安心できる給食の提供を考えれば、案1であれ、案2であれ安いと感じます。

子どもたちの興味を引くという点で言えば、案2はメリットとして1日の楽しみ、モチベーションの向上にも繋がり、食育という部分で、価値の高いものになると思います。

(会長)

給食が1日のモチベーションに繋がる美味しい給食になれば、いいですね。人参やれんこんの皮、ブロッコリーの茎の部分を使い、かなり工夫はされています。また、光熱水費をすべて市が負担しても、基金が底をついています。

ただ、保護者にとって1か月分になると大きな金額になります。国が学校の給食費無償化をすぐにでも進めていけば、一番良いと思います。

しかし、献立を考えるときは予算に合わせて献立を立てるので、困らないような給食費を考える必要があります。保護者の方、ご意見や感想いかがでしょうか。

(委員)

今年の4月から米を5g減量したということですが、どのくらい金額差があるのですか。

(事務局)

金額的には1食あたり2円くらいです。

(委員)

ご飯とパンの価格を比較するとパンが安いということがありますか。

(事務局)

はい、今はパンが安いです。

(委員)

栄養士ではないのでカロリーは分からないのですが、献立表を見るとご飯とパンの差はあまりないと思います。まず、米の量をもう一段階減量して、他市に合わせた量にするのが一つあります。あとは、ご飯の回数を減らしてパンの回数を増やすと金額的には落ち着くのではと思います。

個人的には、案2が一番いいと思います。しかし、金額を減らせる部分もあると思います。

あとは、今、世の中に物価高騰という文字が染みついているので、価格を上げたところで、保護者はやっぱりという感覚になると思います。

国の動向がどうなるか分からないが、給食費が上がって中学生で、ほぼ6000円の段階になった時に、国が動かず、給食費は保護者が毎月払っても、個人的には別にいいと思います。どんどん上げようが、案1、案2の差額は200円、子どもたちのことを考えたら、デザートを増やした方がいいと思います。

ただ、今ここで協議している内容を保護者にどのような手法で、どのように伝えていくかが一番重要だと思います。先ほどの給食の動画など初めて見ました。給食ができるまで、洗浄も3回、5回するとか、維持するために色々なお金を市が支払われているとか知りませんでした。

デザートを増やして、もっと子どもたちに副食で楽しんでもらえる内容にして、申し分ないですけど、物価高騰を踏まえて給食費を上げますとなれば納得してもらえるとと思います。保護者にどのように説明するかが重要だと思います。

(会長)

一昨年この審議会ができ、初めて保護者にアンケートを取り、米飯回数を今の週3.5回が望ましいと答申した状況です。確かに米が、今まで何年も上がっていなかったが、この1年で価格が急上昇です。ご飯とおかずを食べるという習慣を日本人は続けてきたけれど、ご飯を食べる習慣がなくなるかもしれない。そういう意味でも学校給食で、ご飯とおかずという食べ方を続けていくことも一つの生きた教材だと思います。

しかし、お米を 5g ではなく 10g 減らすのも一つの考え方かもしれません。今どれだけ残菜があるのか、量が足りているかどうかは、まだ始めたばかりで分からないので、様子を見ながら検討が必要です。1 食分がどのくらいのお米ですか。

(事務局)

小学生の中学年で精白米量が 75g です。

(会長)

お茶碗山盛りいっぱい 160g くらいですね。中学生だったら何 g ですか。

(事務局)

中学生で精白米量が 105g です。

(副会長)

中学校 3 年生になると食べないです。それは健康を考えずに、美容を気にして残しています。

(会長)

痩せ志向の女子は多いですね。

(副会長)

男子で運動している子どもは、たくさん食べます。運動量で大分変わってくるのと、昔と違って嗜好が変わってきていますが、カレーは献立表にマーカーするほど楽しみにしているのは、今も変わらないです。中学生でも今日の給食は話題になります。

(会長)

給食のカレーは、大きな釜で煮ているので、家庭で少量作るのとは、味もおいしさも感じ方が違うのでしょうか。他にご意見はありませんか。

(委員)

この 4 月から上の子どもが高校生になり、お弁当を作らないといけなくなりました。栄養のバランスを考えていただき、これだけの値段で食べさせてもらえる給食のありがたみを感じています。

給食は保護者にとってありがたく、これだけ物価が上がっても、300 円台で

お昼ご飯が食べられることはすごいことなので、案2が良いと思います。

(会長)

栄養教諭の先生はどうか。

(委員)

何年もこの仕事をしていますが、献立が立てづらくなっています。最初に教育長の話もありましたが、学校給食は生きた教材と言われていて、自分が食べる今日の給食から、色々なことが学べます。旬について、食べ物はどこからどうやって運ばれてきた等、色々な教科に結びつけて考えられるすごく優秀な教材になります。SDGsの献立とか、有機野菜を取り入れた献立などは環境教育と結びつけて使うことができ、栄養を摂取するという意味だけでなく、すごく大きな意味を持っています。

今、献立を立てるとき、旬や行事食のことを考えるよりも前に、お金が足りるのかが頭をよぎり、どの献立を見ても同じような組み合わせになってしまいます。先日、献立検討委員会があったのですが、保護者の方からも、毎月、同じ魚が出ている、もう少し他の種類を増やしてもらえませんかという意見が出ました。同じ魚であっても味付けや調理方法を変える等工夫していましたが、保護者から見れば、同じような献立と感ずることが分かりました。今でも、献立作成は、苦しい思いをしているので、今回、案1と案2が出ていて、どちらがいいのか、少しでも保護者の負担が少ないのかがいいというのは、重々承知の上ではあるのですが、副食を充実させるという面を考えれば、可能な範囲で上げていただけると、献立作成者として、すごくありがたいと思います。

(委員)

先ほど校長から話がありましたが、子どもたちは、献立表を見てデザートが出ることを本当に楽しみにしています。給食は副食を充実させることが基本ではありますが、学校生活が楽しくなるよう、デザートがあると学校も楽しく頑張っていくという気になる子どもも多いと思います。

昨年度、給食費が上がれば、少し充実した献立を立てられると期待しましたが、結局、デザートの数がまた減ることになり、なかなか苦戦をしました。今年度は、月に一度のデザートになっていますが、月に1回のデザートが代休で欠食となってしまう、食べられないことがあります。特に中学校の給食回数は少ないので欠食になりやすく、全校の予定を見ながら献立を立てるのは難しいです。デザートと言いましても、冷たいものや甘いものだけでなく、保護者からは、果物も出してほしいとの要望があります。ぶどうは市内産なので

頑張っただけで必ず出しますが、他の果物は、高く出せません。旬の果物を子どもたちに食べてもらいたいです、それが叶わないのは、苦しいと思っています。物価高騰がこれからも続くと想定し、先を見越した価格で改定をしていただければ、栄養士としてはありがたいと思います。

(会長)

果物は、1日当たり、みかんだったら1個か2個ぐらい、150~200g摂るようと言われていたのですが、果物がすごく値上がりし、食べる量が少なくなりました。果物を食べる習慣が、家庭で少なくなっているため、給食でも、デザートだけでなく、果物を使った料理を入れるのも一つかなと思います。

もう少し話をしたいところですが、時間がまいりました。本日は、まず諮問をいただき、どのように改定するかを審議しました。

次回は、今回の議事を継続して審議し、次回で本審議会としての方針を定めたいと思います。他に事務局から何かありますでしょうか。

(事務局)

次回、6月に今回の審議を深めていただいて、方針を決定していただくこと、7月にまとめた答申を教育委員会にいただく予定で考えております。

(会長)

以上で本日の議事を終了いたします。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。

(副部会長)

長時間にわたり、ありがとうございます。毎日、給食を食べていますが、給食について、初めて深く考えさせてもらいました。先ほど栄養教諭から、限られた金額の中で子どもたちのために最大限の努力をされていると知り、大事に食べないといけないと感じました。今後も審議会が続きますが、よろしく願いいたします。